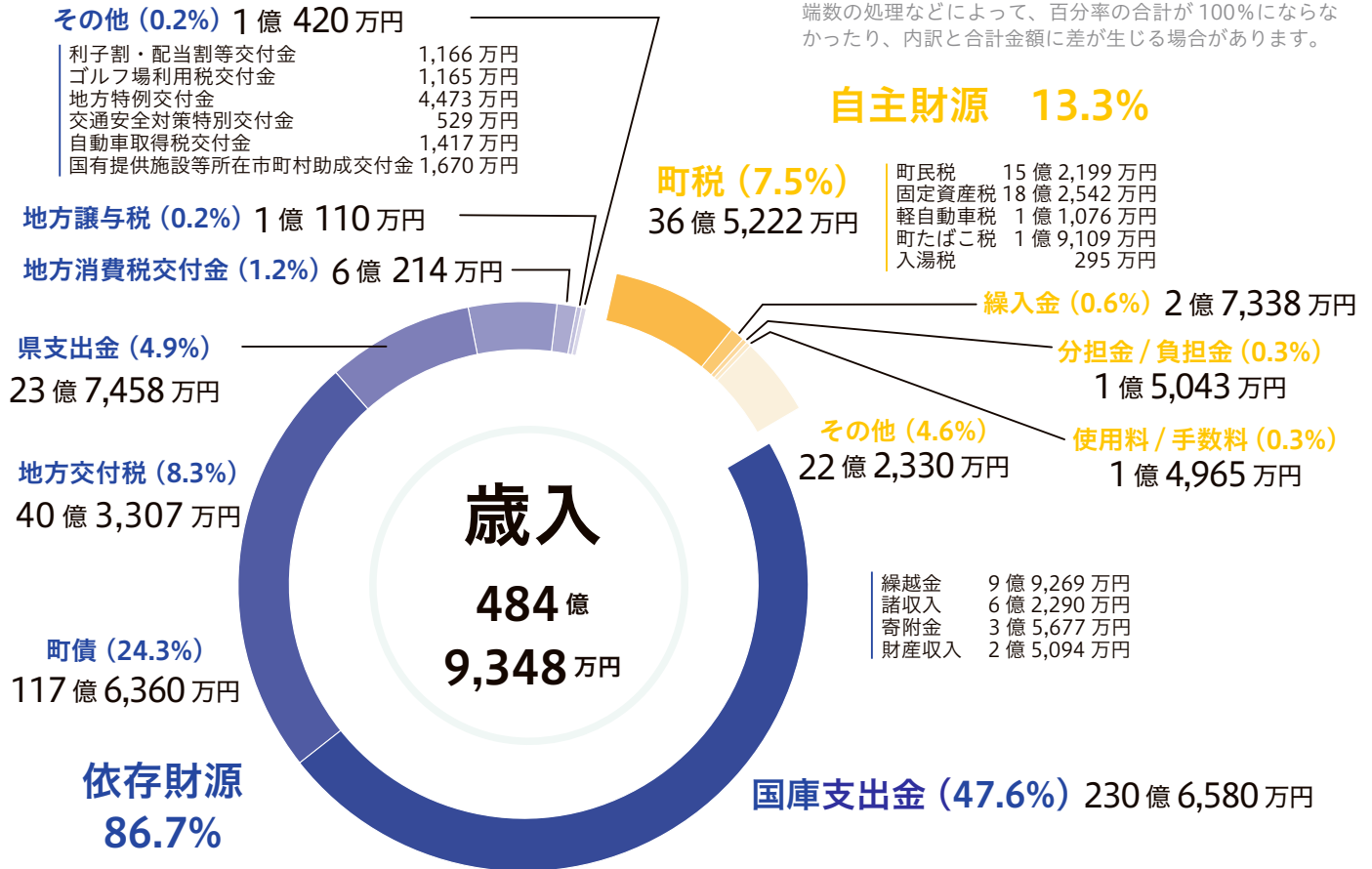


令和元年度 決算状況

令和元年度一般会計の決算は、歳入総額が484億9,348万円で、歳出総額が467億9,101万円。前年度の決算と比較すると歳入が55.1%の増、歳出が54.5%の増となっています。歳入

から歳出を差し引いた額17億0,247万円から、令和3年度へ繰り越す財源5億4,330万円を差し引いた額（実質収支）は、11億5,917万円で、黒字となりました。

端数の処理などによって、百分率の合計が100%にならない場合があります。



自主財源とは、
国などに依存せず町が自主的に収入として得ることができるお金で、これにより自主的な事業を実施できます。

依存財源とは、
国や県が収集した財源から、町へ交付されたり、割り当てられるお金です。

歳入用語の説明

町税…町民税や固定資産税など。
地方譲与税…国税として徴収され、一定基準により、国から町へ与えられたお金。
地方消費税交付金…地方消費税の一部を、人口などに按分され交付されたお金。
地方交付税…自治体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から配分されたお金。
分担金 / 負担金…保育所や公共下水道事業などにより利益を受ける人から納められたお金。
使用料 / 手数料…公営住宅の家賃や住民票などの証明発行時に納められたお金。
国庫支出金 / 県支出金…町の特定事業に対して国（または県）から交付されたお金。
繰入金…基金（町の貯金）や特別会計などから繰り入れられたお金。
町債…町が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金。

各会計歳出決算額比較表

会計区分	令和元年度	平成30年度	増減率(%)	
一般会計	467億9,101万円	302億8,206万円	54.5	
特別会計	国民健康保険	33億9,354万円	35億6,803万円	△4.9
	後期高齢者医療	3億8,506万円	3億6,650万円	5.1
	介護保険	31億0,089万円	30億5,148万円	1.6
	公共下水道	20億8,444万円	25億2,927万円	△17.6
	農業集落排水事業	8,503万円	7,864万円	8.1
	小計	90億4,896万円	95億9,392万円	△5.7
	水道事業	4億5,560万円	4億5,136万円	0.9
合計	562億9,557万円	403億2,734万円	39.6	